



FAMIC(ファミック)

独立行政法人 農林水産消費安全技術センター

FAMIC メールマガジン 第 720 号 (一部抜粋)



平成 30 年 2 月 28 日

5. ◇◇ 最近の話題・キーワード ◇◇

◆ <<< 食品の原料原産地判別 >>> ◆

今期のシラスウナギは極度の不漁で、今夏、うなぎの価格が高騰するかもしれないというニュースが紙面をにぎわしています。国産うなぎを使ったうなぎの蒲焼きにくらべ、外国産のものは手頃な価格で販売されることが多く、ショーケースの前で商品の選択に迷ったことがある方も多いと思います。

うなぎの蒲焼きなどは、原料の産地が価格に反映されやすい商品のひとつで、食品表示のルールによって商品に原料うなぎの産地を必ず記載しなければならないこととなっています。しかし、残念なことに、輸入品のうなぎを使った蒲焼きの原料原産地表示に「国内産」、「〇〇県産」などと偽の表示をして販売される事例が発生していました。

FAMICでは、スーパー等で販売されている商品を購入して、うなぎ加工品に含まれる複数の元素の濃度を測定して、あらかじめ構築しておいた判別モデルと照らし合わせることにより原料うなぎの産地（国産か、外国産か）を判別しています。FAMICは、うなぎの蒲焼きの他にもさまざまな食品の産地の判別方法を開発し、その技術を活用して偽装表示された商品が他の商品に紛れて販売されていないか日々調査、分析をおこない、その結果を偽装表示を明らかにするための端緒として農林水産省に報告することで食品表示の適正化に努めています。